

北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター主催
第19回 応用倫理・応用哲学研究会

コロナ禍における生活・活動

ジェンダー・セクシュアリティに注目して

新型コロナウイルス感染症によって私たちが経験している危機は、新型コロナウイルスへの感染自体だけではなく、時にその感染を防ぐためのさまざまな対策が逆に人々を追い込んでしまうという事態です。こうした状況において人々は、現状を変えるべく新たな活動を始めたり、また既存の活動を新しい形態で継続していきこうと模索し始めました。この研究会では、特にジェンダー・セクシュアリティの観点に注目して、こうした人々の活動から二つの具体的な事例を取り上げます。そこから見えてくるジェンダーやセクシュアリティを取り巻く現状と課題は、一体いかなるものなのでしょうか。

11月30日(火)18:15-19:45 Z⁰O⁰M⁰開催 **事前申込制**

発表① コロナ禍におけるLGBTQのプライド・パレード／フェスタ
齊藤 巧 弥 (北海道大学)

発表② 「不健全」というスティグマの影
——「セックスワークにも給付金を」訴訟について考える

満島てる子 (さっぽろレインボープライド実行委員会、
7丁目のパウダールーム)

コメンテーター 菅野 優 香 (同志社大学)

司 会 近 藤 智 彦 (北海道大学)

詳細は下記HPをご確認ください

応用倫理・
応用哲学研究教育センター



<http://caep-hu.sakura.ne.jp>

申込はこちらの
QRコードからも
行えます



無 料 ・ 定 員 1 0 0 名

お申し込みは11月29日中にお願ひします。なお、定員に達し次第締め切らせていただきます。

問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究院
〒060-0810
札幌市北区北10条西7丁目
Tel: 011-706-4088

応用倫理・応用哲学研究教育センター 事務局
Email: caep@let.hokudai.ac.jp
HPURL: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>
Twitter: @caep_hu